

『心豊かで活力に満ちた生徒の育成』



佐世保市立日野中学校

校長 前田 英穂

生徒数 394名 学級数14

所在地 佐世保市日野町2079番地

1 校訓



- ◎『すべての人を愛する』
- ◎『自分から先に愛する』
- ◎『相手を自分のように愛する』
- ◎『相手と自分をついに』

- (1) 思いやりの心を大切にし、生き抜く力のある生徒の育成
- (2) 自ら目標を持ち、進んで学び、自ら考え、正しい判断ができる生徒の育成
- (3) 心身ともに健やかな生徒の育成
- (4) 人間の尊厳を重んじ、人権を考える生徒の育成
- (5) 勤労を貴び、郷土を愛する生徒の育成

【日野中学校の各校一徳】

- 『み』…身なりや服装を整える
- 『そ』…掃除を進んで行う（ゴミ拾い）
- 『あ』…あいさつを進んで行う
- 『じ』…時間を守る



2 実践内容

(1) 部活動の活躍

本校では、開校当時から各部活動において、佐世保市内はもとより長崎県大会・九州大会さらには、全国大会において優秀な実績を収めている。

今年度も、例年以上に様々な部活動で優秀な成績を残した。佐世保市中学校体育大会を突破し、県大会へ駒を進めた部活動は4団体を数えた。夏季大会においては、女子バレーボール部、軟式野球部、男子バスケットボール部、男子バドミントン部が出場した。また、個人戦においても新体操部・体操部・男子バドミントン部個人ダブルス・水泳部が県大会へ出場した。特に男子バスケットボール部は県大会優勝、九州大会3位となり、全国大会へ出場した。

また、秋の佐世保市中学校体育大会駅伝競技においては男女ともによく健闘し、男子3位、女子7位入賞と昨年を上回る成績を収めた。



〔全国大会出場：男子バスケットボール部〕

新人大会においても男子バスケットボール部・女子バレー部が県大会に出場、男子バドミントン部個人ダブルスでは県大会2位と活躍した。

尚、昨年から十八銀行日野支店様にご協力していただき、県大会・九州大会・全国大会出場については、横断幕を作成し、十八銀行駐車場のフェンスに掲示させていただいている。

(2) 心の教育・保健学習会「性教育講演会」「デートDV防止教室」「SC講話」



〔朝長ゆかり 氏〕

今年度も第3学年及び保護者・地域の方を対象に、朝長ゆかり氏による「性教育講演会」を実施した。4年連続の講演会となったが、生徒は、真剣な表情で話に聞き入っていた。講演会では男性職員が妊婦体験を披露し、和やかな雰囲気の中で有意義な時間を過ごすことができた。この「性教育講演会」は、毎年定期的に行ってほしいという、保護者からの要望が以前から出されており、今年度も開催することとなった。

また、「デートDV防止教室」と銘打って、講演会（ワークショップ）を実施した。今回は、佐世保市男女共同参画推進センター「スピカ」とおして、「DV防止ながさき」に依頼し、第3学年を対象に開催した。

「DV防止ながさき」より講師の方からは一般的なDVの基礎知識から、男女間によるデートDVについて、分かりやすく説明していただいた。

さらに、保健学習会を3学年にそれぞれ振り分け、上記の2つをはじめ、長崎県警スクールサポーターによる「薬物乱用防止教室」（第2学年対象）や本校スクールカウンセラーによる「心の教育」（第1学年対象）を定期的に行っている。



「デートDV防止教室」

(3) 「PTA主催」 ～Thanks clean up Day～

昨年度から一部実施方法を変更し取り組んでいる「校内美化活動～Thanks clean up Day～」を、8月20日（日）に実施した。今回も、例年実施している「正面玄関の清掃活動」及び「ウッドデッキ」のペンキ塗布・校舎内廊下・渡り廊下のワックスがけを実施した。

参加者は、保護者・生徒・職員と地域の方々（健全育成会・民生委員等）に協力していただき、総勢160名での活動となった。生徒に関しては、活動母体を部活動としていたが、部活動に所属していない生徒の参加も年々増え、「自分たちの学校」を「自分たちの手」で『整備』する、という意識が見られる。活動当日は、天候にも恵まれ、さわやかな汗を流しながら、参加者全員が協力して学校の顔である玄関付近をきれいに磨き上げることができた。参加していただいた皆さんありがとうございました。

(4) 地域行事への参加

吹奏楽部が、11月11日(土)・12日(日)に開催された、「相浦地区公民館まつり」において、地域の方々に日ごろの練習の成果を広く披露、また、12月2日(土)に開催された「日野・相浦地区年末安全防犯パレード」にも先頭での行進演奏参加となった。

(5) 学校カレンダー作成

毎年、保護者・地域の方に好評いただいている「学校カレンダー(平成29年度版)」を今年度も保護者・地域に広く配布した。各月に本校の行事予定を印刷したものに、平成28年度の子供たちの活躍の様子を写真で紹介したものを挿入し作成している。保護者や地域の方にとっては、「学校の行事予定等が分かり、年間の計画が立てやすくなる」と大変好評をいただいている。また、学校カレンダーの配布は、各学校行事への保護者や地域の方々の参加者数の増加につながっている。

(6) 保健指導について

今年度も養護教諭を中心とした日野中学校の保健活動の取組が認められ、数多くの表彰を受けている。長崎県教育委員会より『学校保健推進学校：優秀校』、長崎県学校保健会より『良い歯の学校優秀校』、佐世保市歯科医師会より『歯の健康優良校コンテスト優良校』等、本校の保健活動への取組が認められた成果である。

具体的な取組の一例として、本校独自の「日野カード」(養護教諭作成)により、生徒一人一人に健康目標を設定させ、一年をとおして自分の健康に向き合わせるようにしたこと。また、定期的歯科検診後に、ブラッシング指導や臨時の歯科検診(定期的歯科検診でG・GO・歯垢の付着有りと診断された生徒)を行い、歯の健康について全校を上げて取り組んだことが認められたものである。

(7) 毎日パソコン入力コンクール

技術の授業の一環として、全校生徒で取り組んでいるタイピングの技能コンクール(毎日パソコン入力コンクール)では、今年度は惜しくも準優勝であった。本校の研究テーマの一つでもある、「帯タイム」を活用し、授業の開始5~10分を活用して、タイピングの技能向上を目指している。

生徒は、嬉々としてタイピング練習をしており、昼休み等を利用して、先を争ってパソコン室に集まり、時間を惜しんで練習に熱中している。

(8) 放課後学習会

全校生徒を対象に、全職員により原則、毎週木曜日の放課後に25分間、国語、数学、英語の3教科を学年ローテーションで、基礎学力向上をめざした放課後学習会を実施している。今年度初めての取り組みであるため、次年度以降も継続して実施したい。

3 成果と課題

本校は、運動部の活躍が目覚ましく、運動面で注目されることが多い。しかし、文化部もしっかり活動し、成果を上げている。美術部は、「子ども県展」をはじめ、各種コンクール等で優秀な成績を収めている。また、吹奏楽部も「吹奏楽コンクール」において、3年連続「金賞」を獲得しており、着実に実力を付けてきている。学校自体が落ち着いており、生徒たちが部活動をはじめ、諸各活動に集中して取り組んでいる結果である。

このような素晴らしい成果は、「学校だけの力によるものではない」というようなことは言うまでもない。生徒が頑張り、教師が支援・指導する。そこに保護者や地域の支援が加わり、四者の相乗効果が年々表れている。今後も、生徒の活動を認め、誉め、励まし、学校・地域が一丸となって取り組んでいくことで更に教育効果が上がるものと思われる。

本校の最も大きな課題は、学力の向上をいかに図っていくかということである。全国学力・学習状況調査をはじめ、長崎県学力調査・佐世保市学力調査においても、今一步の努力が求められる。学校自体が落ち着いている現在、学力の底上げを目指す環境は整っている。今年度から学力向上の取り組みとして、校内研修において全職員で授業改善への取り組みも始めた。県教育委員会から示された授業モデルを共通実践することで、学力の向上を目指し、日々の教育活動に取り組み始めたところである。今年度の学校評価（生徒評価）においては、「わかりやすい授業」の項目について昨年度より評価結果が上昇している。今後も生徒にとって安全・安心な学校づくりと共に、学力向上をめざして努力していかなければならない。

